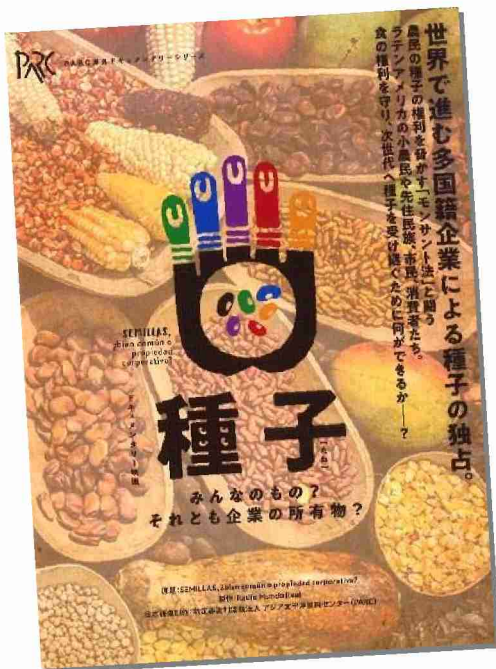


種子(たね)について考えよう



生命の源である種子(たね)。食も農も、種子に始まり種子に終わり、代々伝えられ、またそれが伝えられていきます。世界を見渡すと、このだいじな種子が、いま、企業の所有物となるような事態が起きています。

ドキュメンタリー映画『種子(たね)』は、南米のトウモロコシの種子をめぐる市民・農民の闘いの記録です。日本ではどうなのか。ことし4月に主要農作物種子法廃止が施行され、各地でこれに替わる同様の条例・要綱などの制定の動きがあります。

他方、国際的な知的財産権強化の動向を付度した種苗法における登録品種の「育成者権の及ぶ範囲」を拡充する動きも報道されています。種子をめぐる動向を知り、種子のこれからをみんなで考えましょう。

9月15日(土) 13:30~16:30 参加費 1000 円

会場 国学院大学5号館 5201教室

東京都渋谷区東4-10-2803-5466-0111 (代)

JR渋谷駅から徒歩約15分バス約10分

東口54番のりば(都バス)「学03 日赤医療センター行」国学院大学前下車1分

プログラム

解説 13:30~ **種子をめぐる動向**

国学院大学教授 **久保田裕子さん**

映画上映 14:00~ Radio Mundo Real/2017年/スペイン語
/39分/日本語版制作:アジア太平洋資料センター 2018年

『種子(たね) みんなのもの？ それとも企業の所有物？』

お話 15:30~ **自家採種運動をすすめよう**

日本有機農業研究会副理事長 **林 重孝さん**

主催・協力 NPO 日本有機農業研究会/渋谷環境と文化の会

